

新しい年号になってまもなく1年。様々な変化があった1年でもあり、オリンピック・パラリンピックに向けて様々な取組が進んだ1年でもありました。今年度最後のセンターだよりでは、教育相談から1年の振り返り、研修から来年度の研修の案内をお伝えします。

教育相談から

今年度の教育相談の件数は以下のとおりです。実件数に対し延件数が多くなっているのは、継続して相談を行うケースが多いことを示しています。

障がい種別では、「発達障がい」が最も多くなっています。「その他」には、医師による診断のない子どもたちもカウントされています。診断はないものの、学校生活等に困難さを抱えているという状況があり、診断の有無にかかわらず、支援を考えていく必要性がうかがえます。

在籍校種別では、中・高校生も多くなっており、ライフステージに合わせた支援が求められています。

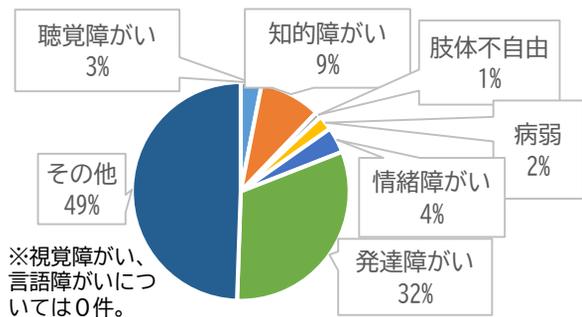
相談内容では、学校生活に関するものが多く、相談に訪れる子どもたちが生活の中で困っている状況にあることがわかりました。たとえ行動の問題が目立たなくても、子どもの立場に立って課題解決に向けて考えていくことが大切だと考えます。

このような状況からも、児童生徒一人一人の困難さを、丁寧に聞きとり、保護者と一緒に背景を推測したりしながら、子どもたちが充実した生活を送れるよう、今後も教育相談を進めていきたいと思えます。

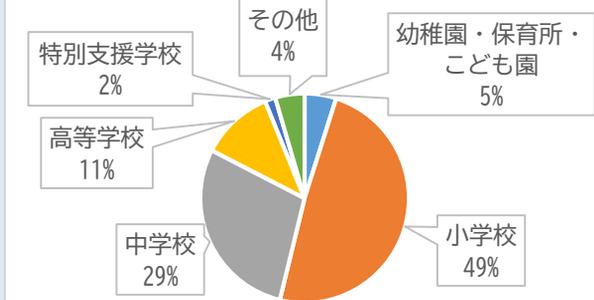
相談件数

来所相談		電話相談	
実件数	延件数	実件数	延件数
77	360	99	190

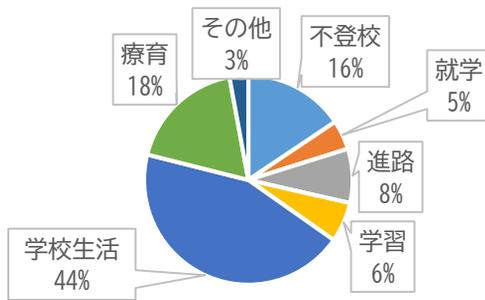
障がい種別相談件数（延件数）



在籍校種別相談件数（延件数）



相談内容別相談件数（延件数）



教育研究・調査研究の協力校の実践を紹介しています

所内で、研究発表会で行ったポスター発表の資料を掲示しています。各協力校のポスターについても縮小版を掲示しており、全ての協力校の実践を一堂に見ることができます。来所の際には、ぜひ御覧ください。



令和2年度
も

8人の外部講師による魅力の公開講座のご紹介!

令和元年度は、16講座延べ510名の先生方に受講いただいた当センターの専門研修講座。令和2年度も本年度同様16講座（新規講座もあり!）を実施します。そのうち、7つの講座では、特別支援教育のみならず各分野で御活躍される先生方を講師にお招きし御講義をいただく予定です。また、職能研修「通級指導教室担当教員研修会」においても、公開講座を実施いたします。



福島県発達障がい者支援
センター長
増子博文氏

新潟大学
教授
長澤正樹氏

特別支援教育総合研究所
総括研究員
杉浦徹氏

社会福祉法人牧人会
相談支援アドバイザー
鈴木仁氏

福島県立医科大学
主任教授
大平哲也氏

立正大学
講師
小野寺哲夫氏

世田谷区立烏山北小学校
きこえとことばの教室
主幹教諭
阿部厚仁氏

上越教育大学
名誉教授
土屋良巳氏

公開講座 外部講師

公開講座は午後に開講しますので、公開講座のみの受講も可能です。興味を持たれた方は、各学校に送付又は本センターWebサイトに掲載の「研修講座案内」で日程や講座内容を御確認の上、奮ってお申し込みください!



なお、公開講座は申し込み順、定員制になっておりますので、お早めにお申し込みください。なお、定員に達した場合、聴講をお断りする場合があります。予め御了承ください。

教材を購入しました

子どもたちの支援に活用できるものとして、今年度は写真のような教材を購入しました。研修で紹介したり、教育相談で活用したりする予定です。



編集後記

今年は本当に雪が降らなかったですね。雪が降った日は、みんなで療育センターの駐車場の雪かきをするのですが、今年は、1度もその機会がなく冬が終わりました。桜の開花も早いようです。いろいろあった年度末ですが、満開の桜の中で、子どもたちが穏やかに新学期を迎えられるとよいなと思っています。(H)

